

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名	公共下水道・農業集落排水施設普及促進事業				
基本事項	予算科目	51-1-1-1(1-1-1),2-1-1(1-1-1)		所 属	産業建設部上下水道課
	部 局 長	産業建設部長 森田 善明		所 属 長	課長 油野 茂樹
	担 当 者	東谷 誠 薛 三絵		連 絡 先	(076)281-3923 (内線 72-161)
	基本方針	3.生活環境		主要施策	6)下水道の整備促進
	義務的事業	下水道法・浄化槽法		定型的事業	
事業の概要	目的	海・河川等公共用水域の水質改善及び生活環境改善を図るため、下水道事業に着手し、順次供用開始区域を広げ、普及率を向上させる必要がある。 「下水道供用開始区域内の未接続者」に対して、「下水道への接続工事を啓発する」ことによって、「水洗化率を向上させる」ことを目的とする。			
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容	
		水洗化率の向上	未接続者	下水道への排水設備工事を促進する	
	費用	事業費		管理費	
千円		うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円
	30,144	30,144	20,042	17,943	50,186
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け			
	必要性	90	下水道供用開始区域内に下水道への接続を啓発することで、水洗化率を向上させ、水質及び生活環境の改善を図ることで生活基盤の充実したまちづくりを目指す。		
	成果・実績	指 標	目 標 値	実 績 値	達 成 率
		合計水洗化率	90.0	%	0.0
		指標の内容	実績の分析		
	供用開始区域内人口のうち公共下水道・農業集落排水を使用している人口の割合。 H20年度末合計水洗化率：84% (公:81.9% 集:96.1%)				
	指標の算式				
	使用者総数 / 供用開始区域内人口 × 100				
総合評価	評価点	方向性	改善計画等		
	0.00				
	目標評価点				
1.87					

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名	業務・総係費(収益的支出)					
基本事項	予算科目	収益的 1-1-1		所 属	産業建設部上下水道課	
	部 局 長	産業建設部長 森田 善明		所 属 長	課長 油野 茂樹	
	担 当 者	東谷 誠 川本久統		連 絡 先	(076)281-3923 (内線 72-162)	
	基本方針	3.生活環境		主要施策	5)上水道の整備	
	義務的事業			定型的事業		
事業の概要	目的	地方公営企業は、地域住民の生活や地域の発展に不可欠なサービスを提供している。公営企業である水道事業の経営には、水道使用量に応じ、毎月需要家から徴収している水道料金が充てられている。「需要家」に対して、「その水道使用量に応じた水道料金を算定し、公平・公正な請求及び確実な収納を実施する」ことによって、「水道事業を健全経営する」ことを目的とする。				
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容		
		水道検針	需要家	毎月の水道料金算定のためのメーター指針の確認		
		水道料金・下水道料金調定	需要家	水道料金・下水道料金の確定		
		水道料金・下水道料金収納	需要家	料金収納		
未納徴収	未納者	未納金の徴収				
費用	事業費		管理費		総費用	
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円
	10,143	10,143	18,430	16,500	28,573	26,643
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け				
	90	水道料金の収納により水道事業の経営が担保されるため有効。				
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率
		料金回収率 (%)		102		0.0
		指標の内容		実績の分析		
供給単価と給水原価の関係を見る指標であり100%以下である場合は給水費用が水道料金以外の収入でまかなわれていることになる。 かほく市平成20年度実績：106.26%						
指標の算式						
供給単価/給水原価*100						
総合評価	評価点	方向性	改善計画等			
	0.00					
	目標評価点					
3.38						

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		公共下水道・農業集落排水建設・管理事業				
基本事項	予算科目	51-1-1-2,3(1-1-1),1-2-2,3(1-1-1)		所 属	産業建設部上下水道課	
	部 局 長	産業建設部長 森田 善明		所 属 長	課長 油野 茂樹	
	担 当 者	河内満夫 北川峰章 藤岡 祐		連 絡 先	(076)281-3923 (内線 72-183)	
	基本方針	3.生活環境		主要施策	6)下水道の整備促進	
	義務的事業	下水道法 浄化槽法		定型的事業		
事業の概要	目的	<p>公共下水道事業認可区域(汚水)1,478haのうち、1,360ha(約92.0%)の整備が完了している。また、農業集落排水においては、15処理区の工事が完了しているが経年劣化等により浄化センター能力が低下し、管理に多大な経費と労力を要している。</p> <p>「市民」に対して、「下水道事業に着手し、順次供用開始地区を広げ、また、機器等の更新を行う」ことによって、「市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、合わせて海・河川等公共用水域の水質保全に資する」ことを目的とする。</p>				
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容		
		汚水管渠整備	公共下水道事業認可区域	汚水管渠の整備		
		雨水幹線整備	内日角地内	雨水ポンプ場設計等		
	公共下水道・農業集落排水施設の維持		施設	管理点検等		
費用	事業費		管理費		総費用	
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円
	426,699	224,231	20,042	17,943	446,741	242,174
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け				
	必要性	90	<p>下水道計画区域内における未供用区域への管渠整備及び、処理場施設建設を行うことにより、水質及び生活環境の改善を図ることで生活基盤の充実したまちづくりを目指す。また、農業集落排水地区に必要な浄化センター能力を確保することにより、水質及び生活環境の改善を図ることで生活基盤の充実したまちづくりを目指す。</p>			
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率
				%	%	%
		合計普及率		98.0		0.0
指標の内容		実績の分析				
行政人口の内、公共下水道と農業集落排水の供用開始区域内人口の割合 H20年度末合計普及率 97.4% (公:83.0% 集:14.4%)		実績の分析				
指標の算式						
供用開始区域内人口/行政人口×100						
総合評価	評価点	方向性	改善計画等			
	0.00					
	目標評価点					
0.37						

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		原水・浄水・配水・給水・受託工事費(収益的支出)					
基本事項	予算科目	収益的 1-1-1		所 属	産業建設部上下水道課		
	部 局 長	産業建設部長 森田 善明		所 属 長	課長 油野 茂樹		
	担 当 者	松田邦彦 西盛豊樹 猪村邦顕		連 絡 先	(076)281-3923 (内線 72-180)		
	基本方針	3.生活環境		主要施策	5)上水道の整備		
	義務的事業	水道法		定型的事業			
事業の概要	目的	かほく市では、市内約35,000人に対して水道水を供給している。 「需要家」に対して、「水道施設の維持管理等水道事業を行う」ことによって、「安心・安全な水道水を供給する」ことを目的とする。					
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容			
		修繕費	施設	取水及び浄水施設並びに配水及び給水施設の修繕(破損時)			
		動力費・薬品費	施設	電気料・滅菌処理			
		委託料	施設	水質検査・電気設備等			
費用	受水費	施設	県水受水費用				
	事業費		管理費		総費用		
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	
	243,099	243,099	10,021	8,971	253,120	252,070	
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け					
	必要性	90	効率的な施設の運営が経費の効率的な使用になるため、適正な施設維持管理として有効である。				
	成果・実績	指 標			目 標 値	実 績 値	達 成 率
		有収率(%)			97.20	%	0.0
		指標の内容			実績の分析		
施設効率を見る場合、施設の稼働状況がどれだけ収益に反映されているかを示す指標。低い場合は漏水等により水道水が無駄になっている。 かほく市平成20年度実績:97.2%							
指標の算式							
	年間総有収水量 / 年間総配水量 * 100						
総合評価	評価点	0.00	方向性	改善計画等			
	目標評価点						
		0.36					

## 平成22年度かほく市事業 評価シート

事業名		取水・浄水・配水・営業費(資本的支出)				
基本事項	予算科目	資本的 1-1-2		所 属	産業建設部上下水道課	
	部 局 長	産業建設部長 森田 善明		所 属 長	課長 油野 茂樹	
	担 当 者	松田邦彦 西盛豊樹 猪村邦顕		連 絡 先	(076)281-3923 (内線 72-182)	
	基本方針	3.生活環境		主要施策	5)上水道の整備	
	義務的事業	水道法		定型的事業		
事業の概要	目的	水道水の安定供給のためには、新たな配水管の布設工事を実施するとともに、漏水の防止及び耐震対策として老朽管布設替工事等の整備を行い、また安定的な水源も確保するなど、さまざま取り組みが必要である。 「かほく市内の水道施設・設備」に対して、「計画的な更新等を実施する」ことによって、「安定した水道水を供給する」ことを目的とする。				
	主な取り組み	区 分	対 象	内 容		
		国道159拡幅工事配水管布設工事	木津・松浜	国道拡幅に伴う配水管布設		
		石綿セメント管更新工事	高松地内4箇所	石綿セメント管からダクタイトル鉄管への更新		
		中沼高区間送配水管布設工事	高松3件	中沼から高区間への送水配水管の布設		
費用	量水器定期交換	需要家	検定切れ直前の水道メーターの交換			
	事業費		管理費		総費用	
	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円	千円	うち一般財源 千円
	192,739	34,339	20,936	18,743	213,675	53,082
事業評価	事業の有効度	主要施策の実現における事業の位置付け				
	90	水源施設工事や国庫補助による石綿セメント管更新・老朽管更新工事により有効。				
	成果・実績	指 標		目 標 値	実 績 値	達 成 率
		施設利用率 (%)		50.00		0.0
		指標の内容		実績の分析		
水道事業は施設型の事業であり施設の効率性により適切な投資の判断ができる。施設利用率は施設の利用率を総合的に判断する指標。 平成20年度実績:46.7%						
指標の算式						
1日平均配水量/配水能力*100						
総合評価	評価点	方向性	改善計画等			
	0.00					
	目標評価点					
1.70						